

景観計画 何で必要なの？

豊かな自然を大切に、町の人々が互いに支えあい、この町の未来をつないでいくために、「倶知安町景観計画」を策定します。

ここでは、景観まちづくりの目指す姿や景観に関するルールなどについて紹介します。

目指す姿・基本理念

■「未来へつなぐ羊蹄の輝き」

＼この先も続くように／

「羊蹄の輝き」に込めた想い

- 羊蹄山によって作られた自然環境で暮らす人々が生き生きとしている姿
- 四季折々に表情を変える羊蹄山の姿

実現のための行動指針

■「先人から受け継いだこの大地を大切に、愛着と誇りを育み、次の世代につなげる」

4つの大切な行動 意識してみよう！

～「過去」について『敬意』を～
倶知安の風景と文化をつくりあげた先人の思いや取り組みに「敬意」を

～「現在」について『思いやり』を～
人と人とのつながりを大切に、みんなで支えあう「思いやり」を

～「未来」について『寛容さ』を～
より良い暮らしや営みのために工夫し、変化しようとする取り組みに「寛容さ」を

～「いつの時代」も『謙虚さ』を～
私たちに恵みと厳しさを与える自然環境をよく理解して「謙虚な」気持ちを

■大規模開発による住民不安の軽減

一定規模を超える建築・開発計画は、景観計画に基づき届出・事前相談が必要です。

また、中～大規模な計画になると、近隣住民や町内会などへの地域説明会や専門家を入れてデザインを調整する会議の開催が必要になります。

- 届出が必要な規模の例（新築の建築物）
高さ 10m、建築面積 300㎡を超える場合
※リゾートエリア（景観地区）を除く

■変化が大きい駅周辺を重点地域に

地域の人々が日常的に集い、来訪者が行き交う駅周辺は、誰もが楽しく憩える空間づくりを目指すために重点地域に指定し、「倶知安駅周辺街並みガイドライン」をあわせて作成しました。

＼景観計画はコチラ！／

この「景観計画」に基づき、倶知安に関わるすべての人がこの地に愛着と誇りを持ち続けられるまちを目指します

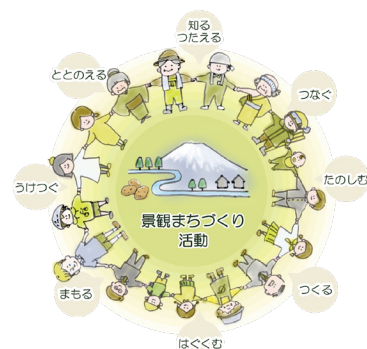


私たちがつなぐ

景観まちづくり

「景観」とは、「景色を観る」と書きますが、羊蹄山のような雄大な自然はもちろんのこと、日常の何気ない一コマも「景観」をつくり上げる要素になります。

現在、行われている「花壇づくり」や「ごみ拾い」などの活動に、一人一人が気軽に参加する「ちょっとした心掛け」が、より良い町となる活動を広げます。“あなたから私へ”“私からあなたへ”次の世代へ「つながりの“環”」を育みませんか。



あなたと私で広げる景“環”

あなたも一緒に 景観まちづくりを考えませんか

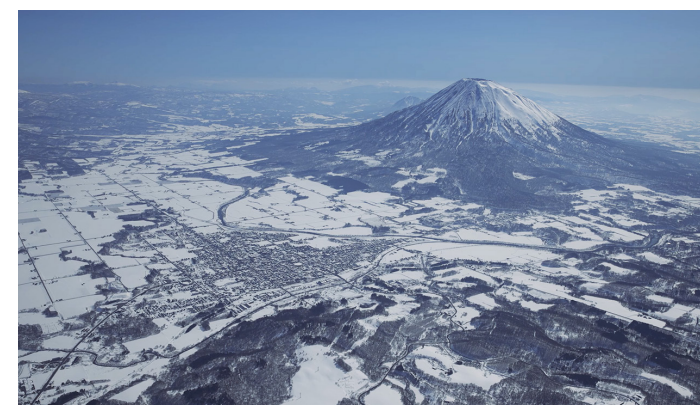
多角的な審議による景観調整を行うため、景観審議会委員を増員し、新たに公募委員1名を募集します。

■応募要件／景観に関心のある町内在住の18歳以上で、年3回程度の会議に出席できる方

■任期／現委員の任期(令和5年6月8日(木))まで※任期が短いため1期延長が前提

■応募期限／12月10日(水)

■まちづくり新幹線課景観室 ☎ 56-8012



特集

美しい風景を この先も ～景観計画～



町の魅力を守り育むため
景観計画を策定

『羊蹄山』や『尻別川』、『じゃがいもの花』、『スキー』
皆さんが「倶知安町が誇る景観は？」と聞かれたときに、思い浮かべるものは何でしょうか？
私たちが暮らす倶知安町は、羊蹄山やニセコ山系に囲まれ、スキーやサイクリングなどのアクティビティも活発な自然環境に優れた町であり、これらの美しい自然環境や基幹産業である農業などにより、今日の豊かな暮らしと文化を築き上げてきました。
新幹線や高速道路の開通により、さらに大きな変化が予想される倶知安町は将来にわたって豊かな暮らし・文化につながる魅力ある景観づくりを行うために、令和4年9月1日から景観法に基づく景観行政団体となりました。
令和5年1月には、町民の皆さんが主体的に景観まちづくりへ取り組めるよう、理念や方針を示した『倶知安町景観計画』を策定します。

倶知安の魅力

町民の皆さんが魅力を感じ、この町に残したいと思う景観は、どんなものがあるでしょうか。

羊蹄山

約 88 票



おいしい水

約 74 票



農業地域

約 48 票



その他 きれいな空気…約 56 票、良質な雪（パウダースノー）…約 51 票

「倶知安町の景観に関するアンケート（令和2年6月）」より